



こみゅーと

「コミュニティユニオン東京」ニュース N0152号 2022年10月28日
 170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館 1F
 TEL 03-3946-9277 FAX 03-5395-3242 E-meil staff@cutokyo.jp
<http://www.cutokyo.jp> 「こみゅーと」ラテン語「流れを変える」
 「こみゅーと」バックナンバーをホームページで読めます

第4回秋の活動者会議 支部の交流深める

ジェンダー平等を学び、人権を考える

憲法改悪阻止、年内100人の組合員拡大を！



10月10日、第4回秋の活動者会議がラパスホールにて、角田由紀子弁護士の講演「ジェンダー平等の視点からの人権を考える」と分散会「秋の運動・みんなで討論、話し合おう」と労働相談活動、秋の拡大月間成功へむけた学び、交流の場として50人が参加し、ひらかれました。

ジェンダー平等とは

「男女平等」を超えて

角田先生のお話は、「時々の支配階級が、人員を支配・抑圧するために、政治的につくり、歴史的に押し付けたきたものが、ジェンダー規

範や役割分担、女性はこうあるべき男性はこうあるべきと定義されています」「シャワーのように日々降り注ぎ、呪文のように繰り返されて社会的・文化的につくられた性差です」と、そもそものお話からされました。参加者からは

敬老の日を前に

「高齢者の労働110番」

9月16日、「高齢者の労働110番」実行委員会から協力のお願ひがあり、鈴木副委員長、松井副委員長が、労働相談員として参加しました。



「歴史背景、世界の動きなど知ることができ、職場においても組合活動においても女性が活躍できるように、具体的な目標を掲げて、実践してい

きたい」と感想が寄せられました。

角田先生は、分散会にも参加されました。

「存在感」を高めて

昼食休憩を取り、高木書記長から基調報告を受けました。「この活動者会議の目的は、学び、話し合う時間を取り、みんなが発言することを位置づけました。秋の運動として、憲法守る運動、相談活動の強化に取り組みます。そして、CU東京は、結成以来の最高の峰をつくり、1630人となりました。年内に1700人の実現に向けて、「存在感」を高めて期待を広げていきましょう。」と発言しました。

高校生が、CU東京のことを知りたいと事務所を訪ねてこられたことなど紹介されました。

CU東京は来年結成15年を迎えます。全支部で秋の拡大目標を達成し、1700人組合を実現させましょう。



4つの分散会に分かれて

その後、4つの会場に移動して分散会が持たれました。

「自己紹介など支部を超えて交流機会ができてよかった」「支部同士の交流も今後も企画してほしい」「いろいろな人の意見が聞けた」など感想が寄せられています。

〈支部大会開かれる〉

第10回定期大会
一人でも入れる組合を大きく
一日も早く100名に
CUあだち



9月10日、第10回定期大会を東京土建足立支部会館で開きました。

コロナ禍でリストラやパワハラなど労働者に対する攻撃が多くなり、労働相談件数も多くなってきています。CUあだちも一層の組織拡大が求められています。

2022年度は女性の執行委員も増え、また労働相談員も7名に増えて団交や交渉にも心強くなりました。今大会までに、「秋の組織拡大」でCUあだちは20人新しい仲間を増やし、86名の組織に成長しました。一日も早く100名の組合に達成して、今年度は、160名のたたかう労働組合をめざします。

争議中の組合員の発言もあり、内容の濃い大会になりました。

大会で選出された次期役員は次の通りです。

- | | |
|------|------------|
| 委員長 | 波平 永 |
| 副委員長 | 館 幸雄 中島優次 |
| | 飯塚美智子 |
| 書記長 | 高島章寿 |
| 書記次長 | 保坂達也 |
| 会計 | 石神俊文 |
| 執行委員 | 平田 潤 松館 寛 |
| | 齋藤美苗 松原富子 |
| | 齋藤昭夫 |
| 会計監査 | 石川直美 増子今朝雄 |
| 顧問 | 北千住法律事務所 |

多くの労働相談を解決し 組織前進 早期に350人の組合に 地域労組こうとう



地域労組こうとうは、9月17日東京土建江東支部会館で第14回定期大会を開催しました。組合員310人を超えて、大会を迎え、組合員交流会がコロナの中で行われない中でも多くの仲間を迎え入れ、労働相談を解決してきました。参加した組合員からは「パワハラを受けて体調を崩し闘っている。今日参加して、闘っている人は自分だけではないと感じた」と発言、「ビッグサイトで清掃業務を行っている者7人で組合をつくった。有給休暇が2年間ないので要求したら、休暇は付与されたが、シフトの不利益変更には遭っている。ご支援をお願いします」と発言しました。

2009年9月の地域労組こうとう結成時から13年間副執委員長を務めた清水啓子さんは「役員として活動し、たくさん色々な事を教えられた。これからも地域労組こうとうを応援していきたい」と退任の挨拶しました。

大会で選出された次期役員は次の通りです。

執行委員長	新野好雄
副執行委員長	小倉一男 清水英明 名越秀和 田辺陽子 中村 元
書記長	松井優希
書記次長	川村好正 青木正憲
執行委員	入江由美子 古川敏也 小西千鶴子 清水のり子 中島聖一 見上成宜峻 柳沢貴史 山下春樹
会計	加藤桃子
会計監査	諸隈智子

「リレー随想 —ジェンダーを考える—

家事労働者だった母

新木輝代(江戸川支部)

長時間の家事代行労働の末に、亡くなった女性の過労死を認めない判決を東京地裁は出した。(9月29日)

労基法の「家事使用人の除外規定」があるためだという。家事労働者は労働者として守られないのか!

私は怒りを抱えながら、10月3日介護施設にいる母と面会した。今年102歳になった母は「認知」が進み、言葉も発しない。でも、表情はおだやかで、私の問いかけにかすかにうなづいてくれた。

私が2才の時、母は「一人親」になり、生活のため縫い物や農作業の手伝いなどで生活していた。生活苦になり、祖母たち親族の進めで、私と兄を祖母に託し上京し、商家の「住み込みお手伝いさん」家事労働者になった。

当時、幼かった私は24時間拘束される住み込み家事労働の厳しさを知らず、正月とお盆に帰ってくる母に冷めた態度で接していた。

母は10数年間の家事労働から、男子寮の賄い中心の「寮母」に転職した。「午前4時間、午後4時間が仕事の時間。あとは自分の時間になった。」と喜んでいた母の笑顔を思い出す。

労基法から家事労働の除外規定を撤廃する改正を一日も早く実現させたい。

今月号から、組合員の皆さんにお願いして「リレー随想—ジェンダーを考える—」を掲載します。ご期待ください。

東京地評第21回定期大会

ジェンダー平等、組織建設を 実現しよう

9月23日、東京地評第21回定期大会で、伊東弘子副委員長がコミュニティユニオン東京から発言しました。



〈東京地評から「組織現勢実増の部」「組合員拡大数の部」で表彰されました。〉

「CU東京は、7月17日に行われた第十三回定期大会において、14支部1630人の組合員数を確認しました。来年結成15周年に向けて年内には、1700人の組合員数となる組織拡大を目指しています。

組織拡大の中心となるのは、「労働相談」です。年間500件に対応し多くの問題を解決しています。派遣・契約・委託など非正規と言われる方、業務請負などの労働法が適応されない方、心の病などを抱える方が増えています。働く人の駆け込み寺としての機能を果たしつつ、困っている仲間とともに問題を解決していく中でお互いに力をつけ、仲間をふやしていくことを目標にしています。

女性執行委員が、全執行委員の3割に増えたことで、CU東京での女性会議の活動を再開することができました。女性の執行委員を増やしていくこと、とりわけ方向性を決定していく四役の女性を増やしていくことは、ジェンダー問題の解決には重要な意味を持つと思います。

ジェンダー平等はすべての組合員の問題として、取り組むべきです。なぜなら一番遅れているのは労働組合の運営ではないかと思うからです。」

■支持率の低下に歯止めがかかりません。それでも27.4%には驚きました。時事通信の世論調査の岸田内閣の落ち込みです。「聞く力」「新しい資本主義」を説きましたが、中身が何もないのですから当然です。「国葬」の大失態、統一教会まみれの内閣は泥船状態、沈没が近いのではないのでしょうか。■「保険証をなくし、マイナンバーカードに一本化」、強制的に2024年秋をめざすと言います。カードの交付率全人口の約50%（9月末）、保険証登録した人は2割。対応できる医療機関は約3割です。法律上「任意」のものを押し付け、対応を一変させました。「情報流失」不安が取得しない最大の理由です。怒りが広がっています。■CU東京は秋の運動にとりくんでいます。年内に1700人組合をめざします。現在1648人、組合員を100人増やすとみられています。10/19あだちの高島さんが6人の加入書を持ち事務所に、相談が解決し組合に入ってたたくと広がったと話します。CUは期待されています。